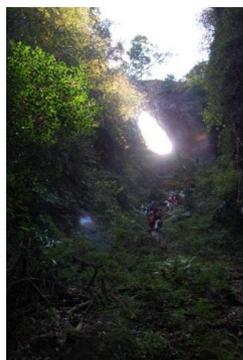




本庄の大楠前



城井の上城裏門



旧蔵内邸

参加者38名(公民館スタッフ2名含む)という大人数で、本庄の大楠の前に集合。挨拶、本庄の大楠が、景行天皇の命で植えられたという伝説があることからクスノキと古代日本人の関わりの話、ダニ室の話の後、クスノキを見学。葉っぱが、無病息災のお守りと聞き、大事に持ち帰る(拾って)方も大勢いた。バスに乗車し、宇都宮氏の隠れ城といわれる城井の上城へ。弓三丁の大岩(上城、攻守の最前線)より城井の上城表門に向かって、散策開始。シカが跋扈しているためか、独特の植生で、マツカゼソウ、エゴマ、オオバアサガラ、スギ林内に入ると、キジョラン、コショウノキ、が目についた。散策上にある大岩にはイワタバコが群生。城内(何も残っていません)では、京築独特といわれる白炭の炭焼き窯、谷川が沿いにイタヤカエデ、ケヤキ、ミズキ、チドリノキ、を観察。最後に、大岩を利用した裏門まで鎖を利用して登攀？満足感にひたって、裏門を見上げながら昼食。そのあと、ここまで来たらこれは見逃せないという、本日特別寄り道の旧蔵内邸(宇都宮氏家臣の末裔といわれる)にむかった。短い見学時間を惜しみながら、門前にて解散。盛りだくさんのスケジュールであったが、築上は城井谷の自然と歴史を満喫していただいたと思う。

(報告 野見山)